

第76回定期地方大会 開催される 「新保ニュース」努力賞・大会は短時間での開催

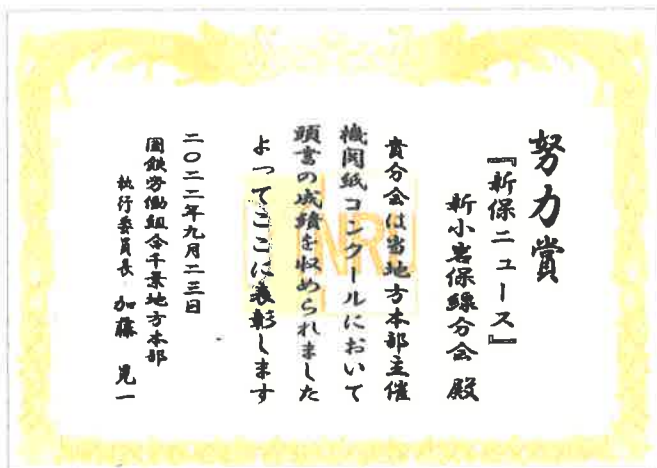
大会はコロナ禍を考え、短時間開催

9月23日(金)に第76回千葉定期地方大会が千葉市「千葉県教育会館」で開催されました。

10時に越川副委員長の開会挨拶と大会が成立していることを宣言し、大会議長には津田沼分会の藤原代議委員が選出され、地本を代表して加藤委員長が挨拶をされ、東日本本部を代表して渡辺副委員長が挨拶されました。

詳しい内容については「国労ちば(10月1日付2587号)」を参照してください。

「新保ニュース」努力賞に輝く!



地本大会機関紙コンクールにおいて「新保ニュース」が皆様の指摘を受けながら良い記事を書くことができ、なんとか努力賞に輝きました。今年度の部数は8部でした。ありがとうございます!それをバネにして更に頑張ります。

因みに地本大会機関紙コンクールの最優秀賞は「蘇我運輸区分会ニュース」でした。発行部数がなんと、今年度54号ということで東日本大会の機関紙コンクールと共に最優秀賞でした。

「新保ニュース」は来年に向けて各分会の機関誌を見習いながら、その上を目指したいです。

新保分会鈴木副分会長が発言

発言では鈴木副分会長が代議委員として「新小岩保線分会は15名で組織され、そのうち14名がエルダーであり、9職場に分散されて全員がそろえることがないが、月1回の執行委員会を開催しながら意思統一をしている。委員会で出されることは各職場の近況報告を出し合いながら『お互いに各職場にいる組合員を励まそう』と話した。また、毎年秋の分会旅行がコロナ感染で2年前から中止したが、「分会旅行が中止せざる負えない状況だが、それに代わって分会として何ができるのか?」を考え「旅行の代わりにBBQ交流会を分会OB含めてやろう」と提起し、2年前から2回BBQ交流会を開催した。10月9日にはOBや若手を含めたBBQ大会を予定している。

同じT職場にいるエルダー組合員が65歳を前に職場を去った。『65まで頑張れないのか』と聞いたが、本人は『単日勤務を希望しても10回以上の夜間作業だ。当然体が持たない』とエルダー出向を途中で辞めてしまう組合員もいる。さらに、エルダー出向先職場の20代の2人のプロパー社員が精神疾患にかかり休業したが、10回以上の夜間作業が睡眠さえもとれない実態の中で、プロパー社員とエルダー社員の働きざまは何も変わらない」と発言されました。

最後は、北嶋書記長が「安心して働き続けられる職場と平和と民主主義を守ろう」と集約され、加藤委員長の「団結頑張ろう」を三唱し、12時40分に大会が終了しました。

